

# Consecration

コンセクレーション

知っておきたいキリスト教のことば (119)

聖別 せいべつ

聖別とは、人や物や場所を、神さまが用いる者として取り分けることです。旧約聖書の中では、「自分自身を聖別せよ」(ヨシュ 3:5) という命令と共に、「わたしは主であって、あなたたちを聖なる者とする」(レビ 20:8) という神さまの約束が語られます。

新約聖書のパウロの手紙においては、「聖なる者とされ」(一コリ 6:11)るのは、「平和の神御自身」(一テサ 5:23)であることを強調します。福音書の物語の中には、イエス様によって「罪が赦された人」や「義とされた人」が登場します。しかし彼らの信仰が認められたとしても、基本的にその人の本質は変わっていないように描かれます。つまり神さまは、彼らを「罪人のまま」、「汚れたまま」で受け入れ、用いられたということが記されているのです。

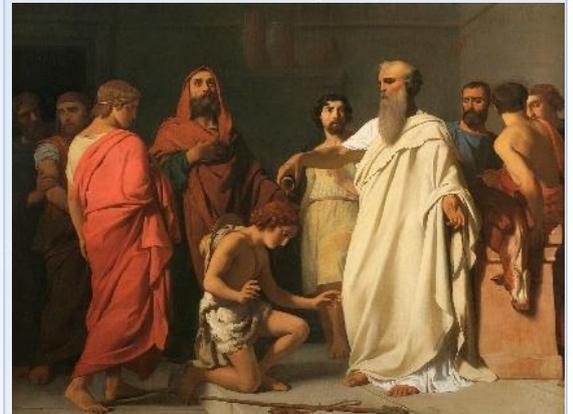
聖公会では、聖職按手式によって、「聖職」を神さまが用いるものとして取り分けます。しかしすべてキリストに従い歩む人は、神さまによって「聖なる者」とされ、神さまのご用のためにそれぞれの働きに遣わされていると考えるのがよいのかもしれませんが。祈禱書の教会問答は、「信徒とは何ですか」という問いに対してこう答えます。

キリストとその教会を表し、どこにいてもキリストを証し、与えられた賜物によって、この世でキリストの和解の業を遂行し、教会の生活と礼拝と運営に責任を負う者です。(祈禱書 265 ページ)

「聖職」には聖奠の執行や神の民を整えるという「役割」がありますが、すべてのキリスト者が共に神さまのみ業に参加することが大切なのだと思います。

礼拝堂や聖餐式で用いる聖具、またパンとぶどう酒も「聖別」され、神さまのご用のために用いられます。聖餐式の中で「感謝聖別の祈り」を唱えるときに、わたしたち自身も神さまによって取り分けられている存在だということを、心に覚えたいと思います。

次回は「聖霊」です。お楽しみに。



「ダビデに聖油をそそぐサムエル」

フランソワ＝レオン・ベヌーヴィル

(1821 - 1859 年)

あなたがたの中にはそのような者もいました。しかし、主イエス・キリストの名とわたしたちの神の霊によって洗われ、聖なる者とされ、義とされています。

(コリントの信徒への手紙一 6 章 11 節)

